

(文中敬称略)

日時：3月2日(水) 午後5時30分～午後7時30分

出席者：岸 貴介、藤田高史、筒井秀代、北野達也、越智 亮、中谷直史、日下部直美、峠 美紀、壽川浩子、室町律雄・青山京子(外部委員：審議事項1のみ)

欠席者：無し

審議事項

1) 研究倫理審査2件：

榛地 佑介(院生)

「ACL再建術後抜釘時における膝関節軟骨変性と膝関節機能、歩行対称性の関連について」

<審査結果>要修正

高橋 知希(院生)

「スクワット動作時における脛骨回旋角度変化が膝関節内側半月板逸脱量」

<審査結果>要修正

2) 次年度の研究倫理講習について(前回からの継続審議)

今年度のeAPRINのコース内容を踏襲する。

3) 学部卒業研究の倫理審査について(前回からの継続審議)

現在は、指導教員や卒業生が卒業研究を何らかの形で学外発表に利用するという可能性を踏まえて、卒業研究については大学院生や教員と同様の水準で迅速審査を行うと共に、後の学外発表の際には形式的な迅速審査を経て新たに番号を付して(※前回は「卒業研究の番号で」と書いたが訂正。2017年度以降は番号を新たに付している。)研究許可証を発行し、ウェブサイトにも情報を掲載している。

しかし、今後は、経営学部からの卒業研究の倫理審査が多数(場合によってはリハビリテーション学部の件数以上)見込まれる。

これを受け、学部卒業研究については、新年度申請分より、学外発表への利用を想定した審査を希望しないものについては、卒業研究であることを重視した審査とすると共に、付与する番号は当該審査を希望するものと区別する。

4) 書式改訂について(前回からの継続審議)

別紙(前回から若干変更)の通り幾つかの変更を施し、年度末までにAAAのWebフォルダに掲載する。(なお、2月23日まで別途意見を募ったが、特に集まらなかった。)また、可能であれば、学部生用の書式については記入例も作成してWebフォルダに掲載する。

報告事項

- 1) 新規の許可証発行 2 件：林 浩之 2 件（迅速・卒研二次利用、新規）
- 2) 研究倫理審査一覧の掲載：大学ウェブサイトに 2 月 26 日承認分までが掲載済
- 3) 議事録の掲載：大学ウェブサイトおよび倫理審査委員会報告システムに第 11 回まで掲載済
- 4) 研究倫理講習：1 月 11 日現在で全員修了済（倫理 2021078 までを発行済）
- 5) 学部卒業研究倫理審査：22PT01 が新規に承認
- 6) 学生対象の研究倫理講習：
 - ・自分づくりゼミ運営委員会（経営学部）では、次年度の経営学部（東海キャンパス）2 年生対象の講習が、今年度と異なり前期に計画されている。
 - ・丸の内キャンパス運営委員会（経営学部）より、次年度初め（4、5 月）に経営学部（丸の内キャンパス）4 年生を対象とした講習の依頼がある。
- 7) 外部委員：室町外部委員の再任承諾書受領。
- 8) 研究終了報告書：未提出の対象者（若干名）について、提出を再度促していく。
- 9) 前回の議題書および議事録の修正：

審議事項 3 の「案」の 3 行目「卒業研究の番号で」は、正しくは「新たに番号を付して」。
（今回の審議事項 3 の※印の箇所に書いた通り。）

次回申請締切：3 月 30 日（水）17 時 00 分

次回開催予定：4 月（日時未定、開催方式未定）